



～2024-25年度主題～

国際会長 シャナヴァスカーン (インド) “Together for better world”
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン (香港) “Make a Great Impact”
 東日本区理事 山田公平 (宇都宮C) “Our Future Direction”
 湘南・沖縄部長 久保勝昭 (横浜つるみC) “共に出会い、共に喜びを！”
 クラブ会長 鈴木 茂 “受けるよりも、与えるは幸いなり”

～今年度クラブ役員～

会長 鈴木 茂
 副会長 坂口 直樹
 書記 大野 君枝
 会計 鈴木 恭子
 直前会長 今城 高之
 監事 辻 剛

今月の聖句

平和をつくり出す人たちは、さいわいである。彼らは神の子とよばれるであろう。

(マタイによる福音書 5章9節)

2月の本例会

日時 2月28日 (金) 17:30～

場所 かけはし都筑

司会 岡田美和 受付 今城宏子

= プログラム =

- 1.開会点鐘 会長
- 2.ワイズソング・ワイズの信条 一同
- 3.今月の聖句と祈禱 森山主事
- 4.ゲスト・ビジター紹介
- 5.会長挨拶 会長
- 6.卓話 兵藤芳朗さん
次期湘南沖縄部長
演題：「錦鯉と鎌倉」
- 7.今後の行事予定
- 8.活動報告
 - 1) 東日本区
 - 2) 湘南・沖縄部
 - 3) つづきクラブ
- 9.YMCA報告
- 10.Happy Birthday
2/17 山添訓さん
- 11.スマイル・アピール
- 12.閉会点鐘
- 13.懇親会食会
「ヴァンサン」会費3,000円

《巻頭メッセージ》

「私の大切な人」

大野 君枝

2月の初旬、娘夫婦と共に米国のアリゾナ州スコッツデール在住の友人を訪ねました。年間3日ほどしか雨の降らないこの街は、青空がどこまでも広がり、乾燥した風も心地よかったです。ご主人の愛する日産車で、セドナ、グランドキャニオン、アンテロープキャニオン、そしてモニュメントバレーまで、4日間の砂漠のロングドライブ。どこも、何と表現してよいら雄大過ぎて、ただただ圧倒されて、携帯カメラでは写しきれないので諦めた程でした。



一方で、現地邦人の方々は細やかな愛と奉仕の精神に溢れ、友人宅には絶えずボランティアが集まり、月末の「アリゾナ祭り」に向けて、日本人ブースに出すバザーの品々の値付けを日が暮れるまで熱心にされていました。山積みになった献品は、最低価格3ドルと決められ、割りばしの袋1枚から、時には立派な仏壇まであるそうで、帰国されるご家族からの品や、遺留品等も集まってくるらしく、その売り上金は協会*の活動資金や、寄付、留学生の援助費用等に使われるとのことでした。今回、私も日本らしいものを何点か持参しました。売れるといいなと思っています。

私の50年来の友人、Beverlyは今69歳、これからもボランティア活動を続けたいと言います。自由福音ルーテル教会宣教師の次女で島根県生まれ、神戸育ち。大学でアメリカに渡ったあとも故郷を忘れず、日本を心から愛し、アリゾナに来た人々をいつも暖かく自宅に迎え入れ、相談に乗り、やさしく支え続けています。現地の人々の感謝の心が伝わってくるようです。私の大好きな、最も尊敬する大切な友人 Beverly とご主人の Dean、次の再会が今から楽しみです。

注) Japan Business Association of Arizona : (JBAA)

「アリゾナ日本企業懇話会」日系企業現地駐在員の集まりで、様々なボランティア活動や会員間の親睦促進などを行う組織。活動の一環として、駐在員のご家族が様々な地域活動を行っている。

右) 集まってバザーの値付けをする駐在員の奥様達。



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

例会報告

2025年1月度本例会

大野 君枝 記

日時 1月24日（金）17:30～
 場所 かけはし都筑
 司会 辻 剛 受付・記録 大野君枝
 出席者 今城T・H、エスキルドセン、大野、岡田
 坂口、鮫嶋、辻Ta・Ts、鈴木K・S、森山
 三木 （13名）
 （ゲスト・ビジター） 鮫嶋和子・紘孝、宮沢仁
 二宮威重 （4名）

- 会長の開会点鐘に引き続き、参加者一同でワイズソングと信条を唱和、森山担当主事が聖書朗読と祈禱を行った。
- 会長による挨拶とゲストビジター紹介があり、卓話者の二宮医師、鮫嶋さんのご母堂他が紹介された。
- クラブ総会：鈴木会長の司会により、クラブの2024-25年度の定期総会が開催された。定足数が確認され、次年度のクラブ役員が以下の通り選出された；
 会長：坂口直樹、副会長：今城高之、会計：鈴木茂
 書記：今城宏子、副書記：岡田美和、監事：辻剛
 You&I会計：大野君枝
- 卓話：医療法人中川駅前歯科クリニック院長 二宮威重さんによる、「口腔ケアで元気に暮らそう」の演題で卓話して頂いた。なお、先生は横浜市歯科医師会常務理事を務めておられる。要旨以下；
 ・都筑区の平均寿命は、全国で男性8位、女性16位の好位置にあるが、平均寿命と健康寿命には10年の差がある。
 ・現在、国はフレイルに注目している。フレイルとは、年齢や疾患によって様々な身体機能が衰え脆弱な状

態になること。
 ・フレイルになる人は2年ほど前に舌の機能が悪くなる傾向があり、オーラルフレイルになると要介護のリスクが大きく高まるので要注意。
 ・対策は、寝たきりにならない、きちんと入れ歯を入れ、口内を清潔に保つ（誤嚥性肺炎の防止）、孤食を避けてしっかり食べる、そしてパタカラ体操等に励む。
 ・近年、歯磨きが盛んになり虫歯が激減している。
 ・3～6か月毎の歯科医でのチェックがお勧め。

- 横浜北YMCAの宮澤さんより青少年基金のアピールがあった。概要以下；
 ①ユースリーダーの支援をお願いしたい
 ②現在、15プログラム、220名のサポートが目標
 ③現行は予算100万円規模
- 鈴木会長の点鐘をもって閉会し、参加者一同で会食



上) 例会の様子
 左) 熱弁を奮っていただいた二宮先生。歯を大切にしようという気にさせられました。

トピックス

“青年奉仕賞”受賞

先般開催された日本YMCA同盟大会で、クラブメンバーの今城高之・宏子両氏が“青少年奉仕賞”を授与され、大会に参加できなかった両氏に、クラブ本例会の場で、森山担当主事より記念の盾が手渡されました。授賞の理由は、共に学生時代はYMCAのキャンプリダーを務め、晩年、ワイズメンクラブのメンバーとして、維持会員としてYMCAを支援してきたことことによるものと思われます。



(1月のデータ)

例会出席	17名	在籍会員数	16名	各種記録	1月実績	年度累計
メンバー	13名	月間出席者数	13名	スマイル	12,800円	12,800円
ビジター	0名	メ・キャップ	1名	—	—	—
ゲスト	4名	月間出席率	87%	—	—	—

“To acknowledge the duty that accompanies every right”



副館長 関口 努



今回は2つの事をご報告させていただきます。

1つ目は、横浜北YMCAで国際協力募金目標に掲げている募金目標55万円をクリアできるところまで来ていることです。

『北Yまつり』が多くの募金につながっておりますが、つづきクラブのYou & Iコンサートでの募金や2月の募金月間での会員への募金のお願い・ミニバザー・街頭募金など様々な取り組みが計画通りに行えていることも大きな要因でもあります。

2月2日（日）に実施した街頭募金ではメンバー10名、スタッフ・リーダー2名が参加し58,807円の募金となりました。当日は風もあり寒い中でしたが子どもたちは大きな声で呼びかけ、笑顔で実施してくれました。



2月15日（土）、3月16日（日）にも街頭募金を実施します。スタッフ、メンバー、運営委員だけではなく、横浜つづきワイズ&ウィメンズクラブからも活動への参加を予定します。多くの方々に感謝します。

2つ目は、子ども支援BAPY) 基金の取り組みです。横浜YMCA全体で、「子どもの未来のために」BAPY基金が用いられておりますが、横浜北YMCAでは基金増大を目標に1月に親子でプール開放と古本市を開催し50,000円を超える基金が集まっております。古本市では会員の方々に呼びかけ、家にある古本を寄付いただき販売する形で実施しました。なかなか処分できなかった本を持ってくるのができた喜び、安く買った時の笑顔、それを用いてプログラム参加できるメンバー・児童の喜びと小さな取り組みが大きくなることを実感できる瞬間です。

3月にもプルー開放を実施して横浜北YMCAの基金目標の70,000円を超えられる取り組みとしていきます。

YMCAの活動の中では募金や寄付にふれることが多くあります。

これからも多くの参加者の笑顔を大切にしていきます。



TKB報告

2月のバースデーカードの絵柄は、定番の鶯と梅の花です。今年の2月の寒さは格別でした。ここ横浜でもこんなに寒いので、東北宮城の山元町ではどんなに寒かろうかと想像しながらカード作りを進めました。来月、3月11日は東日本大震災発災から14年目となります。カードの送り先である山元町には、恐らく外面的には、海岸の護岸や高台に移された家並みは別として、被災当時が偲ばれるものはもう残っていないかも知れませんが、多くの方々の心の中には、悲惨な出来事の記憶は焼き付いていることと思います。また、少し南下すると、原発被害が残る福島の町や村で未だ住人が戻れないところもあることを思うと、14年の年月はあの災害を過去のものとするには到底足りない時間であることを思い知らされます。それ故に、私たちは、カード作りを続けているのです。(TI)



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

会議報告

2025年2月度事務例会報告

今城 宏子 記

横浜つづきワイズメン & ウィメンズクラブ

日時：2025年2月18日（火）17:00~18:45

場所：夢カフェ

出席：今城H、大野、坂口、鈴木K・S、辻Ta・Ts

開会点鐘 会長挨拶に続き、協議を行った。

= 協議事項 =

1) 富士山YMCA移動例会5/16(金) ~17(土)

鈴木会長提案。

・鎌倉クラブの兵藤さん紹介の旅行会社「旅人」に依頼すると、バス関係費用が約19万円。

・当クラブから3万円を補助して22名の参加として、全費用が1名約21,000円。

・以上の条件で、部の各クラブに呼びかけることを承認した。

2) 北YMCA交流会：5月10日（土）北Y職員、運営委員、つるみクラブ、当クラブ交流。

3) 東日本区大会：6月7日（土）詳細は後日。

第31回アジア太平洋地域大会：

8月1日（金）~3日（日）登録の件。

■ 今後の行事予定

● 2/19（水）・3/19（水）TKBカード作り
13:30~15:00 @夢Café● 2/28（金）2月本例会（ピンクシャツデー例会）
17:30~ @かけはし都筑

卓話：兵藤芳朗次期部長 テーマ：「錦鯉と鎌倉」

懇親会：ヴァンサン

● 3/8（土）~9（日）次期会長・部役員研修会
@東山荘

● 3/11（火）3月事務例会 17:00~ @夢カフェ

● 3/28（金）3月本例会 17:30~

@ @かけはし都筑

卓話：山本俊正日本YMCA同盟会長

テーマ「YMCAのあるべき姿とはービジョン2030」

懇親会：ヴァンサン

● 4/8（火）4月事務例会 17:00~ @夢カフェ

● 4/25（金）4月本例会 17:30~ @かけはし

都筑 卓話：山口直樹東日本区書記

テーマ「老人ホームで学んだこと」

■ 報告事項

・東日本区：国際投票結果

国際会長：ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィック氏
(ノルウェー)

アジア会長：ラチャン・マネカーン氏 (タイ)

・湘南・沖縄部：部合同懇親会：

4/26（土）11:00~17:00 @三浦YMCA

・つづきクラブ クラブのライングループを作ることとした。

担当：坂口さん

■ 閉会点鐘をもって閉会。

行事報告

2025年横浜YMCA会員大会 ~ピースフォーラム~ 報告 今城 宏子 記

日時：2025年2月11日（火・祝）

会場：湘南とつかYMCA（オンライン配信あり）

特別講演：絵本から学ぶ「へいわってどんなこと」

講師：浜田桂子氏 絵本作家・画家

オープニング開会礼拝に続き、工藤誠一横浜YMCA理事長による開会挨拶があり、次いで特別講演に先立って講演者のプロフィールの詳しい紹介が司会者によってされた。

・浜田桂子氏は、多くの写真を投影しつつ「へいわってどんなこと」の3国共同刊行の経緯や各国訪問の様子等が紹介された。戦争を拒否し平和をつかっていくために、加害の歴史を学び国境を越えた連帯へ。日中韓平和プロジェクトは、その過程が「平和をつくる」作業だった。日本では出版の困難にぶつかった



本もあったが、完成して11巻全て刊行できた。戦争が起きている今だからこそ、と強い思いを話された。

・続いて広島ピースキャンプ報告が学童クラブ所属の小学生9名(?)によって行われた。

原爆ドームや平和記念公園訪問、被爆体験講和を受けるなど、写真を用いて感想が述べられた。

・ウクライナ支援についてカテリーナさんから、能登半島支援の状況がYMCA職員から報告され引き続き募金の呼びかけがあった。

・YMCAの活動について動画で紹介され、維持会員募集の呼びかけがされた。

佐竹博横浜YMCA総主事による閉会挨拶をもってすべてのプログラムが終了した。

なお、当クラブの鈴木茂会長、元メンバーの横田孝久氏が司会の大役を担われた！

"To acknowledge the duty that accompanies every right"

ご 案 内**《その1》 第28回 ワイズメンズ国際協会東日本区大会**

日程： 2025年6月7日（土）

場所： 宇都宮

ライトキューブ宇都宮（JR宇都宮駅直結）

大会テーマ：ユース・エンパワーメントの実現 Y's×SDGs Youth Action

当クラブが所属する、ワイズメンズクラブ東日本区の区大会が6月7日（土）に、宇都宮で開催されます。東日本区に連なる各クラブのメンバーとの交流を深める格好の機会です。あちらこちらに、それぞれ独自のプログラムを展開する東日本区の仲間と連なり、意見交換することで、私たちの新しい方向性が見えてくるのではないかと思います。自分たちだけの殻にとじ込まず、新しい息吹を求めて出かけましょう。

詳しい情報並びに参加申し込み方法は以下のURLからご入手いただけます。

http://comeon.ys-east.or.jp/?utm_campaign=lp_utsunomiya

《その2》**第 31 回 アジア太平洋地域大会のご案内**

本年8月に開催される国際ワイズメンズクラブ アジア太平洋地域大会の案内が寄せられています。

関心がありになる方は、以下のWEBサイトより情報入手されるようお願いいたします。

ワイズメンズクラブメンバー各位

日頃、ワイズダムの発展、貢献に感謝申し上げます。

さて、2025年8月1日（金）～3日（日）の日程で第31回アジア太平洋地域大会が熊本にて行われます。このような国際大会を九州の地方都市で開催するのは初めてですが、中世からの趣をなお残す熊本城に代表される歴史・文化や雄大な阿蘇をはじめとする豊かな自然、そして清らかな湧水が育む美味しい食材に恵まれた地であり、大会テーマの『For Greater Joy』を大いに満喫いただけるものと存じます。加えて、地元の夏祭の「火の国まつり」も開催中ですので、街の熱気で暑ささえも楽しみいただくと幸いです。また、同時にAYC（エリア・ユース・コンペーション）が7月30日（水）から8月3日（日）に行われますので、こちらも多くの若者が参加できるようにご協力をお願いいたします。

つきましては、第31回アジア太平洋地域大会ご案内と登録要領並びに大会WEBサイトをご覧のうえ、参加ご登録をよろしく申し上げます。

第31回アジア太平洋地域大会実行委員会

委員長 田上正

事務局長 前田香代子

大会WEBサイト： <https://www.asp-kumamoto.com/>

**《2月26日は“ピンクシャツデー”です》**

「ピンクシャツデー」は2007年、カナダの2人の学生から始まったいじめ反対運動です。

日本のYMCAはこれに賛同し、毎年2月の最終水曜日に全国各地でイベントを実施。教職員や子どもたちがピンク色の服や小物を身に付けていじめ反対をアピールするほか、いじめに関する授業を行うなど、いじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す1日としています。



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

フォトアルバム

去る1月19日、横浜中華街の「心龍」で催されたY-Y's（横浜YMCAと湘南・沖縄部）新年会の模様を写真でお伝えします。当クラブからは、鈴木会長、辻 剛、坂口直樹、今城高之の各ワイズが参加し、横浜YMCAスタッフ、各ワイズのメンバーと親しく交流することができました。



中華街「心龍」が熱気に包まれた夜！

《卓話のご案内》

- ①今後のクラブ本例会で行われる卓話の予定は以下の通りです。ご期待ください！
 - 3月本例会（3月28日）
 - 講師：山本俊正 日本YMCA同盟会長
 - テーマ：「YMCAのあるべき姿とはービジョン2030」
 - 4月本例会（4月25日）
 - 講師：山口直樹 東日本区書記
 - テーマ：「老人ホームで学んだこと」
- ②予定されているクラブの行事は次の通りです。
 - ・湘南・沖縄部合同懇親会
 - 4/26（土） @三浦YMCA
 - ・北YMCA交流会
 - 5月10日（土）
 - 北Y職員、運営委員、つるみクラブ、当クラブ交流会
 - ・つづきクラブ富士山例会
 - 5月19-17日 @富士山GEV
 - ・東日本区大会 @宇都宮
 - 6月7日

▼2月号ブリテンの発行が大幅に遅れたことをお詫びいたします。創刊来、毎月15日に発行し続けてきましたのに残念に思います。遅延の原因は、編集担当の健康問題で、思いもかけなかった急性心筋梗塞の診断でカテーテル処置が行われ、2月初旬より2週間ほど入院してしまいました。現在は既に退院して編集作業に取り組んでいます。完治した訳ではないため、おっかなびっくりの日々を送っています。長年酷使してきた身体が耐えかねて反乱を起こしたものと思われまます。皆様も、どうかお気を付けて下さい▼病床で思ったのは、ワイズの仲間と共に元気に楽しく活動できることがどんなに素晴らしいかということでした▼本編でもご紹介した通り、1月のクラブ総会で次年度のクラブ役員が出そろいました。これまでは会長全員がチャーターメンバーでしたが、今回初めて、チャーターメンバーではない、当クラブにとっては若手のメンバーが会長に就任します。皆で新会長を盛り立て、一層の躍進を期待したいと思います▼4月クラブ恒例、富士山例会が企画され準備が進んでいます。昨年引き続き、他クラブからの参加もあるようです。これまで以上に楽しい、意義ある富士山例会になればいいと思います▼残すところ4か月の今年度ですが、鈴木会長を中心に、良き年度となるように頑張ってやみません。

（編集子）

編集後記

“To acknowledge the duty that accompanies every right”